

二宮町の史跡と歴史

町の名称の由来になったお寺や、
歴史上、町にゆかりのある人物など、
史跡・歴史をたどって二宮町を知りましょう！



神社仏閣



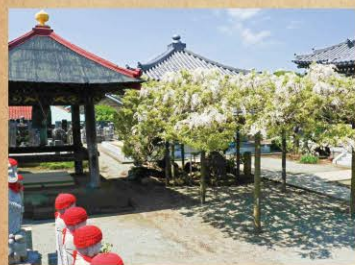
川勾神社 (町名由来の地)

A6

今から1000年以上前の927年にまとめられた『延喜式
神名帳』に記載された相模国13社の中にある名社で『二
宮』の由来になった神社であり、創建は今から2000年前
と言われ、二宮町の氏神様として今は祀られています。

現在は地元二宮町民が多く参拝しており、二見宮司も
「川勾神社と二宮町は一体であり、そのため歴史が続いて
いる」と話し、二宮の日常を表す場となっています。

毎年5月5日の国府祭や10月第2日曜日の例大祭、2月3
日の節分祭など(祭、イベント一覧を参照)様々な行事が行
われており、多くの観光客も足を運んでいます。



等覚院 (フジの花)

C7

古義真言宗の寺院。本尊は不動明王、そ
の他多数の仏像が置かれています。

「藤巻寺」とも呼ばれており、その由縁とな
る4月下旬から咲くフジの花は町の天然記
念物、重要文化財にも指定されています。



吾妻神社 (縁結び神社)

C7

吾妻神社は、吾妻山公園の展望台下に位
置し日本武尊の妻、弟橘媛命が祀られていま
す。吾妻山物語という二人の深い愛の物語は
「古事記」や「日本書紀」にも描かれており、現
在は縁結びの神様として信仰されています。

良い御縁を求めている方はもちろん、今の
御縁を大切にしたい方も参拝してみたいはか
がでしょうか。

ニーノと一緒に
居られるのは
吾妻神社の
おかけかも！



記念館



ふたみ記念館 (二宮ゆかりの画家)

二宮が生んだ異才の洋画家、二見利節
(ふたみ・としとぎ)の作品や関連資料を展示
しています。二見利節は、昭和期に活躍した
画家で、昭和8年に春陽展に初入選、昭和
13、14年には文展(現在の日展)に連続入
選するなどしました。また、作品をほとんど売ら
なかったことでも知られています。生涯で約
4,000点の作品を制作していますが、そのう
ち遺族から約2,500点が寄贈され当館に所
蔵しています。

ぜひ、二宮の芸術に触れてみてください。

- 開館時間: 10時~16時
(入場は15時30分まで)
- 入場料: 一般200円 中学生以下無料
- 休館: 月曜日・火曜日(祝日の場合は
開館し、翌日休館)年末年始



徳富蘇峰記念館

E6

徳富蘇峰は国民新聞の創刊をはじめ明治
から昭和にかけて活動したジャーナリスト・歴
史家。記念館は秘書である塩崎彦平氏が昭
和44年、蘇峰の13回忌のときに直筆原稿や
書簡などを保管し後世に残すために建てら
れました。記念館の目的は書簡などを残すの
みに終わらず、蘇峰や彦平の意思を尊重し
た資料提供の場にしたいという願いがこめら
れています。書簡は4万6千通以上の数が現
存しています。

- 開館時間: 10時~16時
- 入場料: 一般500円
大学・高校生400円
中学生以下無料
- 休館: 月曜日(祝日の場合は開館し、
翌日休館)